



# 骨脆弱性を有する脊椎患者に対する インプラント補強法

-人工骨ペースト(CPC)によるscrew augmentation-

日時

2025年9月19日(金) 9:00～10:30

会場

ウインクあいち  
ハンズオンセミナー会場  
6階展示場604+605

演者

長谷川 智彦 先生

浜松医科大学附属病院 整形外科  
JA静岡厚生連 遠州病院 整形外科

席数

24席(先着順)

申込

下記URLまたはQRコードの申込受付入力フォームよりお申し込みください。  
<https://forms.office.com/r/jNc6WXzuuA>



お問合せ先 : HOYA Technosurgical株式会社 マーケティング部 川上  
Mail : [yuhei.kawakami@pc.hoya.co.jp](mailto:yuhei.kawakami@pc.hoya.co.jp) Mobile : 090-7947-2139



第32回一般社団法人日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会

## 骨脆弱性を有する脊椎患者に対するインプラント補強法 -人工骨ペースト(CPC)によるscrew augmentation-

浜松医科大学附属病院 整形外科

長谷川 智彦 先生

JA静岡厚生連 遠州病院 整形外科

本邦では脊椎手術を受ける患者の最多年齢層は70歳代であり、骨脆弱性を有する患者の割合は非常に高い。そのため、インプラントを用いた脊椎固定術、特に脆弱性骨折の患者に対する固定術では、骨粗鬆症治療薬による内科治療の追加に加え、スクリューの挿入法、セメントスクリューの使用など、スクリューの強度を上げる工夫が出てきている。その中で、セメントスクリューには高頻度の血管外漏出、モノマーによる生体毒性、硬化時の発熱などのリスクがある。今回、リン酸カルシウム系骨補填剤をスクリューの補強に用いた症例を経験したので、その具体的な方法を動画で示し、施行時の注意点やメリット、デメリットについて報告する。

In Japan, many spinal surgery patients are in their 70s and have bone fragility. To enhance screw stability, especially in fragility fractures, methods such as osteoporosis treatment, screw technique modification, and cement augmentation are used. However, cement poses risks like leakage, toxicity, and heat. I will present cases using a calcium phosphate-based bone substitute for screw augmentation, demonstrating the technique via surgical video and discussing its benefits, risks, and key considerations.

